メガネを掛ける人の悩み

作成者：グエン・ゴック・ハー

皆さんはメガネを掛ける人を見ると、「カッコいいかなぁ」や「僕もメガネが欲しい」という考えを浮かんでいますか。メガネを掛ける人は全部近視病気になるわけではありません。しかし、今回作文は近視病気のメガネを掛ける人について書きたいと思います。

一つ目の悩みはメガネをよく掛けると目がだんだん悪くなることです。近視病気があるとメガネを掛ければ大丈夫と思う人が多いだと思います。むしろ、メガネを掛ける時間が多いほど目が疲れてきます。それに、メガネを掛ける人が気にしないうちに、近視病気が重くなりつつあります。私のような近視病気がある人は6月ぐらいメガネを取り返しなければなりません。毎回メガネを取り返すのは一回近視病気が一段と重くなりました。

二つ目の悩みは雨にバイクを運転できないことです。普通の考えはメガネを掛れば、目に飛び込む水を予防できるために、安全運転できることです。しかし、メガネに水を付けると、メガネが見通せなくなります。目に飛び込む水を予防できますが、道路が見えなくなって、バイクが運転できなくなります。

三つ目の悩みは横になりつつ、ゲームや映画を見ることがれていくことです。普通な人にとって、横になりつつ、テレビやパソコンを見ることは簡単です。しかし、メガネを掛ける人にとって、メガネを掛けつつ横になると、頭がガラスフレームに挿入してしまいます。長い時間なら、ガラスフレームの形が変えてしまいます。逆に、メガネを掛けないでテレビを見れば、何もぼんやりして、見えていきます。

つまり、メガネを掛けるのは面倒くさいです。子供たちがメガネを掛けなければならなくならないために、近視病気を引かないようにしてください。そのため、今から子供たちが「光が足る所で働く」や「本を近づきで読む」ということを予防して、子供たちに一番完璧な環境を作ってあげてください。